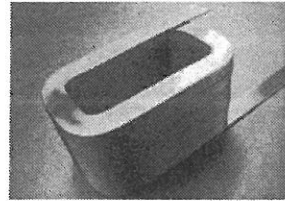


エッジワイズコイル巻線機HWXシリーズ



エッジワイズコイル

多賀製作所 HV普及で注目高まる

「エッジワイズコイル」巻線機

多賀製作所(本社・東京都羽村市、加藤洋一社長)は、モータ関連部品などに使用されるエッジワイ

ズコイルを高精度に製造する巻線機「HWX」シリーズを開発。エッジワイズコイルを必要とするHV(ハイブリッド自動車)やEV(電気自動車)の普及が始まる中、その加工性の高さが注目を浴びている。エッジワイズコイルは、銅製の平角線を曲げにくいエッジ側方向に巻いたコイルで、バッテリーからの低

圧電流を昇圧してモータに供給するリアクターと呼ばれる部品などに使用されている。通常の丸線のコイルと比べ、空間を埋めた導体断面積である占積率が高いため直流抵抗の低減や周波数特性のアップが期待できる。

特に最近では、軽量化が求められるHV、EVなどの次世代自動車用途において、少ないスペースの中に高性能なリアクターを搭載できることが急激に増している。

同社は「HWX」を5年前に開発。従来のエッジワイズコイル巻線は平角線を縦に曲げるため、内径R部に極度な負荷がかかり、線厚に膨らみが生じやすい。「HWX」は線にストレスを与えない独自の巻線ノウハウにより傷のない、厚みの安定したエッジワイズコイルを製造することができる。また、これにより、内径が90度に近い長方形のよ

うなエッジワイズコイルを製造することが可能。この形状は楕円形状のエッジワイズコイルより省スペース

化が期待できる。加藤社長は「当社の巻線機でなければできない形状」と胸を張る。

同社では、これまでも「HWX」を展示会でアピールしてきたが、今年は例年に増して来場者から注目を浴びている。HVやEVが本格的に普及するのを目前にして、エッジワイズコイルへの関心が高まっているという。加藤社長は「スマ

金属産業新聞

出版物のご案内

2011年版ばね名鑑
B5判・約300頁 表紙クロス
販売価格 6,300円(送料別)

ばねのあれこれ設計 初級編I
A5判・約130頁 3,150円(送料別)

10ばね機械・機材総合カタログ
B5判・約60頁 2,100円(送料別)

2010年版ばね技能士名鑑
B5判・約200頁 表紙クロス
販売価格 6,300円(送料別)

ばねのあれこれ用語集 総集編
[改訂版] IV
A5判・約380頁 5,250円(送料別)

※お申し込みはFAX、または弊社ホームページからお願います。

[本社] FAX 03(3433)5605
[関西] FAX 06(6762)3297

ートグリッド社会では、従来の大型発電設備に替わり、次世代自動車をはじめ風力、太陽光発電など、蓄電・充電設備のダウンサイズ化が始まる。エッジワイズコイルの需要も高まるはずだ」と指摘している。

同社は明治20年に糸巻機の製造販売から創業した老舗巻線機メーカーで、現在はジャスタック上場企業であるローヤル電機の100%子会社。主要ユーザーは自動車や電機関連メーカー。

多賀製作所・本社工場
東京都羽村市神明台3-1-8、電話042-578-0011、http://ta-ga.co.jp/